

2011年3月18日

お客様各位

日機装株式会社
メディカル事業本部

停電発生時のPD製品機器のご使用について

東北地方太平洋沖地震による発電所崩壊の影響で、計画停電による停電及び突発的な停電が予測されます。停電発生時のPD（腹膜透析）製品の機器の取り扱いにつきまして、下記の通りご連絡いたします。

記

1. CAPD加温器（ステイセーフ加温器）について

停電中は加温されません。

透析液バッグの温度が低下しますので、加温される時間を考慮の上、ご準備いただきませうようお願いいたします。加温時間の目安は、取り扱い説明書をご参照ください。

2. APD装置（スリープセーフAPDシステム）について

計画停電など、停電の時間をあらかじめご確認いただき、停電が予想される時間帯の使用は避けていただきますようお願いいたします。

【重要！】APD装置使用時に、停電が起きた場合は「日機装APDコールセンター」にお問い合わせください。

電話が不通の場合には、以下の対処方法をご参照ください。

停電発生時のタイミングにより、ご案内が異なります。以下の4つのケースを説明します。

- ・“おやすみなさい”画面が出る前に停電した場合
 - ①透析液を接続する前に停電した場合
 - ②透析液を接続した後に停電した場合
- ・“おやすみなさい”画面が出た後に停電した場合
 - ①治療を終了する場合
 - ②そのまま待機した場合

詳細は、以下のとおりです。

・“おやすみなさい”画面が出る前に停電した場合


- ① 透析液を接続する前に停電した場合 **【そのままの状態から治療が再開できます】**

停電すると即座にサイクラーの電源が切れます。

電源が復帰した際には、以下のような初期画面になります。



—スマイリーをタッチ

—セットされているセットプラスはそのまま使えるので通常通りで治療を進めることが可能です

- ② 透析液を接続した後に停電した場合 **【セットした透析液・回路は使用できません】**

停電すると即座にサイクラーの電源が切れます。

電源が復帰した際には、以下のような初期画面になります。



—スマイリーをタッチ

—セットしてある透析液バッグを床に下ろす

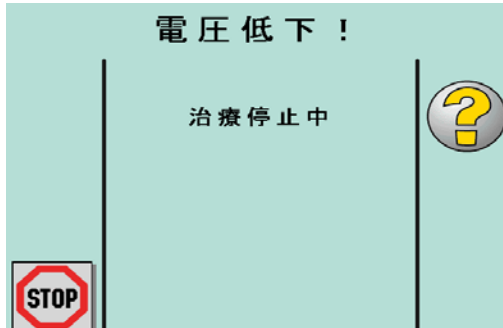
—通常の治療手順通りをタッチ

—トレーが出てきたら中にセットされているセットプラスを取り外す

—新しい透析液とセットプラスをセットし直して治療を開始できます

・“おやすみなさい”画面が出た後に停電した場合

～APD装置は一時停止し、以下の画面が表示されます～



- ① 治療を終了する場合 【セットした透析液・回路は使用できません】

を押すと強制終了と同様に終了に進みます。

治療結果は表示されないため、その後の治療については医療機関にご相談ください。

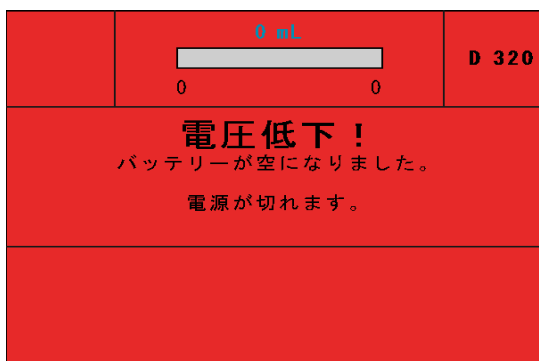
- ② そのまま待機した場合 バッテリーが消耗する時間はおよそ 20 分です。

- バッテリーが消耗する前に復帰した場合 【そのままの状態から治療が再開できます】

停電した段階の工程から治療が再開されます。

- バッテリーが消耗した場合 【セットした透析液・回路は使用できません】

以下の画面が表示されます。



- 安全のため回路が自動的にシャットダウンされ、その後電源が切れます
- 通常通り切り離しを行います
- 再起動しても治療結果は表示されません
その後の治療については医療機関の御指示にて治療して下さい

ご不明点がございましたら、お手数ですが、弊社営業担当までお問合せさせていただきますようお願い申し上げます。

以上